



卷頭言



本年も静かに年の瀬を迎える頃となりました。日頃より、児童養護施設ならびに児童家庭支援センターの活動をあたたかく見守り、支えてくださった皆さんに、心より感謝申し上げます。

子どもや若者を取り巻く状況が揺れ動く中、自立支援に関わる中で「寄り添うこと」の難しさと大切さを改めて感じた一年でした。一人ひとりが抱える背景も歩幅も異なり、思いの距離がすれ違うこともありました。十分にできなかつたと振り返る場面も多く、さまざまな課題を受け止めています。

児童養護施設では、学習交流会や職場見学を行い、子どもたちが自分の将来を少しでも思い描けるような機会づくりに努めました。緊張しながらも職場の雰囲気や言葉遣い、安心して質問できる時間、大人が働く姿に触れることで、社会との距離が少しづつ縮まっていると感じています。社会とゆるやかにつながれる経験が社会とつながる感覚を育て、小さな経験の積み重ねで選択肢を広げてほしいと思っています。また児童家庭支援センターでは、家庭の不安や悩みに早く気づき、相談につながれるよう働きかけてきましたが、支援につながること自体が大きな勇気であることも実感しています。私たちの支援が十分だったのか悩む場面も少なくありませんでしたが、ほんの少しでもつながれたとき、ほんの少しでも役に立てていたらと願うばかりです。

新しい年も、子ども・若者・ご家庭が安心して暮らせるよう、これまで以上に丁寧に耳を傾け、そっと寄り添える支援を続けてまいります。皆さんにとって、来る一年が穏やかであたたかな時間に満ちたものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。



児童養護施設 若草園
自立支援担当
児童家庭支援センターわかくさ
主任
岡崎 光子

児童家庭支援センター

わかくさ

子どもや、家庭のことに関する相談を受け付けています。お気軽にご連絡下さい。お待ちしています。

☎0880

31-0311



まど 若草園の様子



ガーデンパーティ

今年は快晴で暑いくらいのお天気でした。“大谷泰吾旅行気分”のバンド演奏と“四万十市踊り子隊”的演舞で盛り上げていただきました。多くの方にお越し頂き感謝申し上げます。



ポスターは中3の男子が書いてくれました。



みかん狩り
おいしいのはどれかなー



マラソン・陸上



日常の1コマあれこれ



リース作り



クッキー作り
おいしくできたかな^ ^



誕生日会



カブスカウト活動
薬物乱用防止の
募金活動をしてきました



お休みの日
のお出かけ



フリスビーしたよ

ぼくは、あおいくんとフリスビーをしました。てのひらを上にむけて、フリスビーをとばしました。ジャンプをしてとれたのがうれしかったです。あおいくんはものすごいはやさでなげていたので、ちょっとむずかしかったです。

小1 Kくん



しんぶんでスリッパ

きょうは、さんかん日でした。みんなの、おうちの人気がきました。ちょっとはずかしかったです。

ぼうさいがくしゅうをした時に、みんながトイレを作っていてすごかったです。しんぶんのスリッパを作ったのしかったです。もし、じんがきたら、だんボールのトイレやしんぶんのスリッパをつかいたいです。

小2 Mちゃん



秋の和歌
小4 Hちゃん

令和7年度上期 ご寄付一覧表

(2025. 4. 1~9. 30)

皆様に心から感謝申し上げます。<50音順・敬称略>

*寄附金

I (匿名) (4回)

上原農園

大石 正幸

大塚 紀美

河内屋商店

高知県神道青年会

株石昭

田中 則明

ディロン潤

徳弘純一・明美

渡会 慎一郎

土森 裕子

新見 時治

沼原利彦・紀予 (2回)

林 博

15組 19口 ¥342,448



*寄付物品一覧表

高知市教職員組合(図書カード)

白井 敬子(かぼちゃ)

白井 敬子(ミニトマト)

卒園児勤務先(歯ブラシ40本)

谷川 祥子(中古マンガ・書籍、雑貨類)

原 雅彦(すいか、きゅうり、オクラほか)

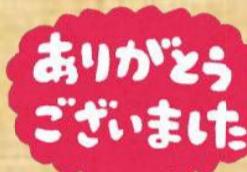
ハートリボン協会(絵本)

細川 秀信(いのしし肉、じやがいも、プラム)

山崎浩展・純代(米)

龍馬学園(図書カード)

9組 10口 時価¥53,000



オレンジリボンキャンペーン

毎年11月は、児童虐待防止推進月間です。高知県では、県内6つの児童家庭支援センターと関係機関が協力して、高知オレンジリボンキャンペーンを展開しております。

今年は、11月29日(土)に杉江健二氏をお招きし、『児童虐待は「減らそう！(啓発)」から「減らす！(防止)」時代へ』と題した講演会を高知県ふくし交流プラザで行いました。また、SNSイベント「オレンジを探そうや！」を11月30日まで開催しておりました。

講演会では、子育てでイライラして暴力・暴言などの脅しや強制的な力によって子どもをしつけるのではなく、親のコミュニケーション力を高めることによって、親子の良好な関係を保ちながら、徐々に子どもを上手くしつけていくコツを学びました。特に、問題行動に注目するのではなく、問題のない行動を褒めることの大切さや、褒める前に「おおっ！」と小さなリアクションを添える事で自然な褒め方になることが印象に残りました。また子どもがうまくできている瞬間に目を向け、積極的に褒める関わりを意識していきたいと思いました。

講演会、SNSイベントに参加して下さった方々、ご協力して下さった方々、本当にありがとうございました。今後ともオレンジリボンキャンペーンにご支援ご協力をよろしくお願ひ申しあげます。



児童家庭支援センターわかくさ 相談員 有友沙希

●酷暑と言われたこの夏、やっと終わつたと思えば、秋は走るように去つて行きました。いつに冬になり身体がピックリしています。●先日30ぶりに幼馴染に会つてきました。同じ地域でしたが、冠婚葬祭で会つて以来でした。他愛もない懐かしい話に花が咲き、また頑張ろう。と力を貰えました。●小さい頃から遊んでケンカした幼馴染は無くなるのかもしれない。寂しく思います。●年末の嬉しい日々、穏やかに新しい年が迎えられますようお祈りしております

おじま



若草園を支える会

役員紹介



若草園の後援会組織「若草園を支える会」は若草園の充実、発展と入退所児童の生活問題の支援・啓発に寄与する事を目的に2007年(平成19年度)に発足しました。会員や賛助会員を募集して若草園の広報活動を支援しています。

会長 副会長 副会長 副会長 監事 監事



矢野川 研



林 博



野地 ちえみ 山崎 利彦



乾 梢



宮崎 治茂